

平成26年度 結果の分析及び今後の改善

(中間・最終)

安浦中学校区 校番 36

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	結果の分析 (結果と課題をこう考えます)
***	<p>① 確かな学力を身に付ける。</p>	<p>① 思考力・判断力・表現力を高める授業の創造</p>	<p>&lt;学びのすすめ&gt;                      ○「学びのすすめ」をもとに、指導をくり返し児童に意識させてきた。また、できていれば褒めるように努めた。結果、多くの項目で90%前後となり、指導の効果がでてきていると思われる。前回52%にとどまった「よい姿勢」も70%まで上昇した。                      ○「正しい言葉遣いができている」と答えた児童は96%から86%になった。正しい言葉遣いで話すことを普段の会話から全職員で行ってきた。その結果、児童は正しい言葉遣いで話すことができていないことを少しずつ意識できてきたものと考ええる。                      &lt;授業の6原則&gt;                      ○「挙手・指名・返事・姿勢・発言・評価」を日々意識するようにしてきた。手の上げ方や返事の声などその場その場で指導してきた成果は出てきている。                      &lt;生徒指導の三機能&gt;                      ○教師側:「誤答などを大切にす・どんな発言でも取り上げ大切にす」という項目で60%→87%へと改善が見られた。しかし、「発言をつなげ、集団での学び合いになるようにしている。」という項目と共に90%を越えていない。                      ○児童側:「1人調べ」「自信がないときでも意見が言える」「友だちの考えをわかろうとする」という項目で80%を越えていない。「自分の考えや意見をもつ」という面が弱いものと考ええる。                      &lt;基礎学力&gt;                      ○全体的には市販テスト30%未満をなくすという目標の達成ができていると考ええる。しかし、課題のある児童もいるのも事実である。</p>
**	<p>① 豊かな心を育む。</p>	<p>① 規範意識の涵養</p>	<p>&lt;4つのきまり&gt;                      ○「あいさつ」「時間を守る」「本気でそうじ」について前回調査より達成度が上がり、全て90%を超えた。                      ○「校舎内歩行」については、達成度が53%と前回より下がった。しかし、2学期意識してがんばった児童は、増えている。また、3学期も生活目標に設定し取組中である。                      ○「あいさつ」は、児童委員会が、毎週木曜日朝、あいさつ運動を行い、よいあいさつができている学年を校内放送で紹介し、意欲を高めている。</p>
		<p>自尊感情の高揚</p>	<p>&lt;道徳の時間と体験活動の関連&gt;                      ○三津口小の自慢、地域の方への感謝の思い、自分の良さについて全児童が回答することができた。体験したことと道徳の時間での指導を一体化して計画的に指導を行うことができたためと考える。</p>
*	<p>健康・安全の保持増進と体力の向上を図る。</p>	<p>体育授業やわくわくタイムを通じた体力の向上</p>	<p>&lt;サーキットトレーニング&gt;                      ○授業の開始時に毎時間取り組むことにより、秋の体力テストの平均が上がる等児童の体力の底上げができた。また、朝の会に柔軟運動をすることで、児童の柔軟性が向上した。                      &lt;わくわくタイム&gt;                      ○持久走大会に向けて走力と持久力をつけるために3分間走に取り組む、その延長として毎日大休憩に3分間走に取り組んでいる。</p>
		<p>生活習慣の定着</p>	<p>&lt;パワーアップカード&gt;                      ○取り組む前に前回の課題を職員で共通理解し、児童と確認してから取り組んだ。そのため、パワーアップ週間中は意識して取り組み、少しずつ改善しているが、まだまだ課題がある。ノーテレビデー・ゲームデーは保護者にも考えてもらおうきっかけになったと考える。</p>

## 善策(案)

学校名  呉市立三津口小学校

<p>m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))</p>
<p>&lt;学びのすすめ&gt; ○全体に正しい学習規律のもと落ち着いて授業を進めることができている。全体指導と個別の指導をしながら、「学びのすすめ」を持ち帰らせ家庭で読んでもらう等、家庭と連携し100%を目指す。 ○引き続き正しい言葉遣いで話すことを徹底して指導すると共に、正しい言葉遣いを意識化させるコーナーをつくる等して児童の言葉に対する意識を高めていく。</p> <p>&lt;授業の6原則&gt; ○全職員が、どの教室どの場面でも意識して指導する。そのために全職員が6原則を身近において意識を高める。</p> <p>&lt;生徒指導の三機能&gt; ○教師側:個々の考えを集団思考の場面で深めていく指導の在り方について、研修を深めてきた。さらに、今後授業研究等を通して深めていく。 ○児童側:教科指導場面だけでなく、特別活動や家庭学習等においても自分の考えや意思をもたせる場を確保する。</p> <p>&lt;基礎学力&gt; ○言語活動の充実、思考力判断力表現力の向上を目指した授業の工夫、朝(きらり)と昼(やすらぎ)の2つの帯タイムでの取組等によって、さらなる学力の向上を図る。</p>
<p>&lt;4つのきまり&gt; ○できていることはしっかりほめ、「校舎内歩行」についても教師が意識統一し指導していく。</p>
<p>&lt;道徳の時間と体験活動の関連&gt; ○道徳の時間と体験活動との関連性が児童にもわかるようなワークシートを作成するなどし、教師と児童が共通認識をもって取り組んでいく。</p>
<p>&lt;サーキットトレーニング&gt; ○児童がより意欲的に取り組めるような手立てを考える。(掲示、タイムなど)</p> <p>&lt;わくわくタイム&gt; ○外遊びを活発にするために多種多様な遊びを紹介する場にしていく。 ○なわとびをがんばっている児童をほめる、表彰する、紹介する等、意欲的にできるようにする。</p>
<p>&lt;パワーアップカード&gt; ○健康面について保健だより等で課題となっていることについて保護者に伝えていくように学習や生活面においても学校・学級通信等で伝え、保護者と連携していく。</p>